

伊集院保健所感染症情報

2026年第28週（令和8年7月6日～令和8年7月12日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：手足口病、伝染性紅斑

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値			伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第25週	第26週	第27週	第28週	先週からの増減	第27週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	113.00	124.50	134.50	117.50	↘	63.63	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
COVID-19	—	—	—	7.00	22.00	45.50	33.50	↘	13.09	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.97	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	11.00	8.00	6.00	2.00	↘	1.42	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	4.32	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↘
手足口病	5	2	—	21.00	17.00	12.00	10.00	↘	6.23	↘
伝染性紅斑	2	1	—	3.00	4.00	3.00	2.00	↘	0.19	↘
突発性発しん	—	—	—	1.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.32	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	1.00	6.00	1.00	0.00	↘	0.97	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.00	9.00	2.00	1.00	↘	2.16	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC

海外へ渡航される皆様へ

旅行中に注意すべきこと

海外では、日本にはない病気がたくさんあります。海外旅行では、時差や気候の違いなどから、（自覚していなくても）様々なストレスを受けます。この結果、免疫力が低下し、病気にかかりやすくなってしまいます。一生治療を続けなければならない病気もあります。無理のないスケジュールを心がけ、避けられる危険を避け、楽しい旅行にしましょう。

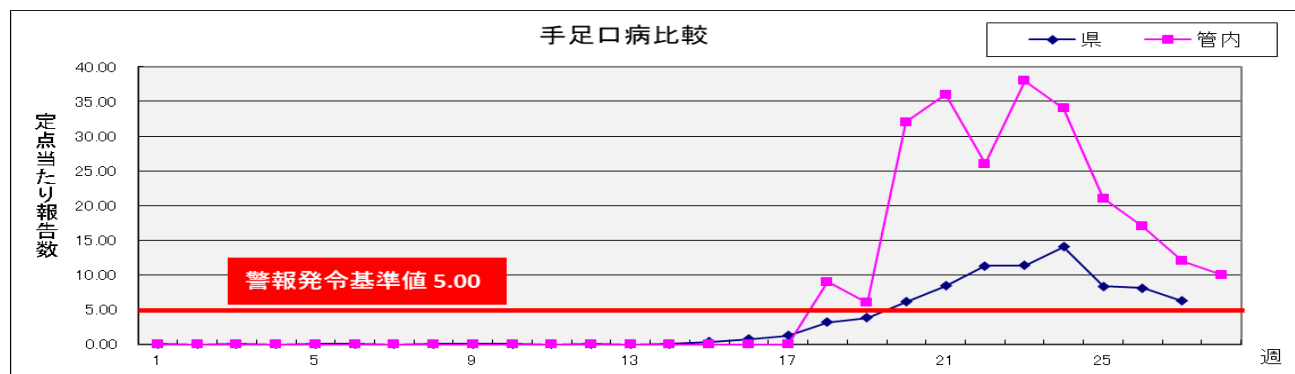
- 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は、十分に火の通った信頼できるものを食べましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫よけ剤を使うなどしましょう。
- 動物は、狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。また、ヒトコブラクダはMERS コロナウイルスを持っていることがあります。むやみに近寄ったり、触らないようにしましょう。
- 薬物やゆきずりの性交渉で感染し、一生後悔することのない行動をとしましょう。
- 咳や発熱、発疹など、なんらかの症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。

「海外で健康に過ごすために FORTH」→



● 注意すべき感染症

・手足口病（流行発生警報発令中）



第28週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、10人でした。

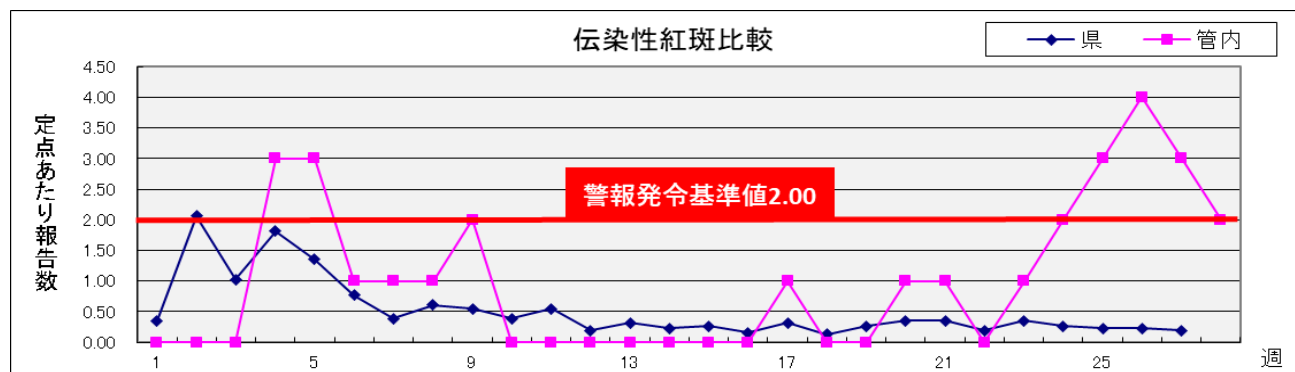
年齢別では、1歳（6人）、4歳（2人）、2歳・3歳（各1人）の報告がありました。

手足口病は、感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くなく、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

予防法としては、タオルの共用を避け、手洗いをしっかり行いましょう。

・伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第28週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、5歳・6歳（各1人）定点あたり2.00でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況7/6～7/12（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、流行性角結膜炎1人、感染性胃腸炎1名、溶連菌感染症1人、手足口病1人、COVID-19の82人報告がありました。

疾患名 自治体名	流行性 角結膜 炎	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症	手足 口病	新型コロナ 感染症
日置市	0	1	1	1	54
いちき串木野市	1	0	0	0	28
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	82